

# 4年生 防災キャンプ

7月17日、18日と青少年宿泊施設「あかたにの家」で、一泊二日の防災キャンプを行いました。防災について学び、もしも災害があった時、避難所で自分たちができることについて学習してきました。



川活動では、ペットボトルを抱いて浮く体験をしました。おしりを上に持ち上げる気持ちで、慌てず落ち着いて行うことで上手に浮くことができました。また、川に入るときは運動靴を身につけること、川を横断するときには深さや流れを考え、腰を低くして横切ること等を教えてもらいました。川は、滑りやすく流れがあるため、移動が大変なことを体感できました。

避難所には、赤ちゃんからお年寄り、体の不自由な人もいられるかもしれないことを踏まえ、避難所の困りごとやその解決策を考えました。子どもたちは、自分たちにできそうなこととして次のことを考えて発表しました。

- ①お年寄りに声をかけること。
- ②トイレなどの移動の時に肩を貸す。
- ③狭い場所なので体を動かさずらいため、その場でできる体操を教える。
- ④避難所の通路を作ったり、きまりを決めたりする。
- ⑤食べる物等を配る。

グループで相談しながら、思いやりの気持ちが表れた考えができました。



ポリ袋でご飯やスープができれば・・・びっくり。

お昼は、救給カレーと乾パンを食べてました。「家のカレーよりおいしー」と声が聞かれました。非常食で、カレーが混ざって、とても食べやすい非常食でした。

防災レクリエーションの一つとして、毛布担架作りをしました。毛布と棒2本で、人を運ぶことができます。子どもたちは驚きま



作った段ボールパーティションを立て、就寝の準備万端です。消灯までのひとときを楽しみました。



防災グッズ作りでは、新聞紙のスリッパやビニール袋の雨合羽を作りました。みんな、上手に作れました。

# 4年生 おいしい豆腐作り

1月30日に、新発田市総務課の食育・給食係の方に来ていただき、総合の学習で「おいしい豆腐の作り方」を教えてくださいました。3年生と一緒に行いました。4年生は、昨年に引き続き2回目の体験になりますので、3年生をリードしながら手際よく進めることができました。

- ① 大豆と水をミキサーにかける    ② 鍋にあけて、優しくかき混ぜながら煮る。



- ③ 泡をすくい取る

- ④ 豆乳をしぼる



こし布に入れて、ぎゅっと絞りました。  
絞り汁が**豆乳**  
こし布の中に残った物が**おから**  
「豆乳は、あまい。」  
「おからは、豆の味がする。」  
という声が聞かれました。

- ⑤ 豆乳をあたためる



木べらで優しく混ぜながら弱火で温め、**80度**になったら、火を止める。

豆腐のかたさを決めるのが温度なのだそうです。

- ⑥ にがりて固める。

鍋にふたをし、タオルなどをかぶせ、10分くらい待つ。  
**うまくてきるかドキドキ!**

- ⑦ 型に入れる



- ⑧ 水を切って完成



**完成しました!**  
**手作り豆腐は、豆の味が濃くておいしい。**

作業工程が多く、完成するまでに1時間40分ほど時間がかかりましたが、みんなで協力して手作り豆腐の味を賞味することができました。普段の生活ではなかなかできない、できたての豆乳の味や、味を付ける前のおからの味をみる貴重な体験もできました。